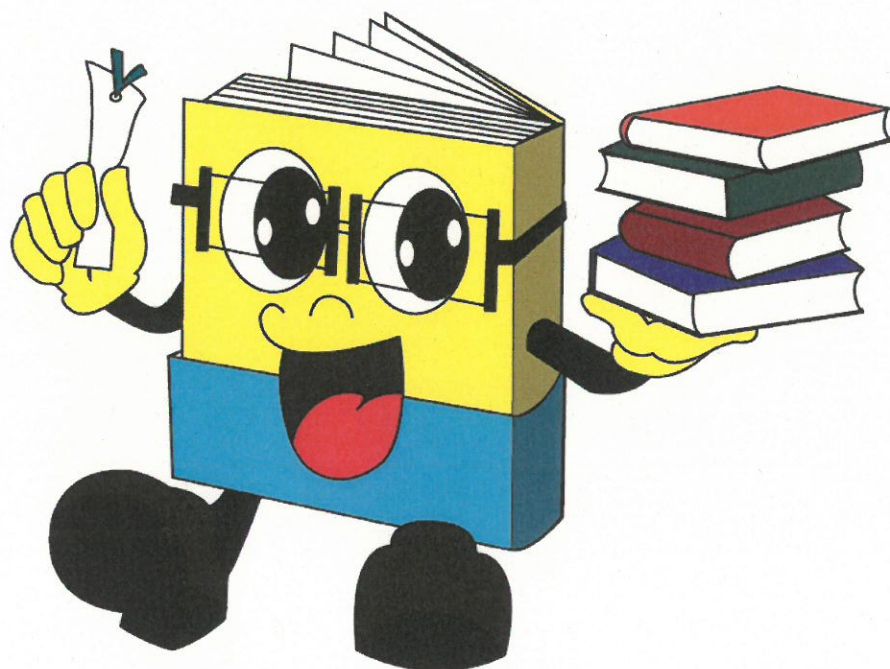


令和 2 年度

図書館要覧



四万十市読書活動推進キャラクター 「ぶっくん」



四万十市立図書館

Tel 0880-35-2923

目 次

I	利 用 案 内	1
II	図書館概要（組織・資料等の概要）	2
III	サービスの状況	3
IV	令和2年度運営方針	7
V	令和2年度予算	9
VI	資 料	
	図書館沿革	10
	参考 図書館サービス実績（指標）	12

** 施設の概要 **

名 称	四万十市立図書館
所 在 地	四万十市中村大橋通4丁目10番地（市庁舎2階部分）
床 面 積	1,162.09㎡（2階部分）
建物構造	鉄筋コンクリート7階建
建 築	平成22年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	50席
特 別 室	郷土資料展示室、レファレンス室、グループ学習室、多目的ホール、おはなしの部屋

名 称	四万十市立図書館 西土佐分館
所 在 地	四万十市西土佐江川崎2445番地2（西土佐総合支所1階）
床 面 積	175.15㎡（1階南側部分）
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
建 築	平成26年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	12席

I 利用案内

令和2年4月1日現在

- 1 開館時間 9時～19時 (分館:10時～18時)
- 2 休館日 館内整理日(毎月最終金曜日)、蔵書点検、年末年始(12月29日～1月3日)
- 3 利用案内
- * 利用は無料です。
 - * どなたでも閲覧できますが、館外に持ち出す場合には登録が必要です。
 - * 予約・リクエスト・読書相談・レファレンス・資料の複写(有料:著作権法の範囲で)にも応じています。
 - * パスワードの発行を受ければ、インターネットを介して予約ができます。

- 4 館外貸出
- * 登録が必要です。
 - ①四万十市に住んでいる方 } ならどなたでも登録できます。
 - ②通勤、通学している方 }
 - ③近隣市町村に居住の方も登録できます。
(職員にお問い合わせください)

- 5 貸出限度冊数
(個人の場合)

メディア	貸出期間	貸出冊数(貸出券1枚)
① 本/紙芝居/絵本	2週間	10冊まで
② 雑誌		5冊まで (分館3冊まで)
③ ビデオ/DVD/CD	1週間	2点まで

- * 原則、新聞/図鑑/事典/官報等の館外貸出はできません。
(禁帯出シール付きのもの)

- 6 予約
- * 本棚に本が返っていない場合、1人5冊まで貸出希望を受付けます。
(所定の用紙に記入をして下さい。)

- 7 リクエスト
- * 所蔵していない資料を購入します。もしくは他の図書館から借ります。
(所定の用紙に記入をして下さい。)
(内容の似た本があれば、購入をお断りすることがあります。)

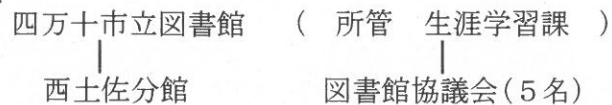
- 8 団体貸出
- * 学校や保育園、職場や地域で利用を希望される方に貸出します。
(基本は1ヶ月間で100冊程度ですが、相談に応じます。)

- 9 レファレンス
- * いろいろな調べものをお手伝いします。簡単な質問には、その場で相談に応じます。内容によっては後日回答をさせていただくことになります。
 - * 適当な資料を所蔵していない場合は、他の専門機関を紹介します。
 - * 特定の方に利益・不利益をもたらす質問には応じられません。
(クイズの答え、学校の課題・宿題、絵画・骨董の鑑定など)
 - * 医療・法律問題については応じません。

- 10 その他
- * AVブース(4席)、情報公開端末(3台)、拡大読書機(1台)
 - * 多目的ホール、グループ学習室、(要予約、前日までに)
 - * 壁面展示スペース、郷土資料展示室、おはなしの部屋など

Ⅱ 図書館概要

1 組織



2 名簿

(1) 生涯学習課

(R2. 4. 1現在)

職 名	氏 名	備 考
課 長	花 岡 俊 仁	
課 長 補 佐	安 岡 栄 治	
公 民 館 運 営 係 長	竹 内 美 和	
主 幹	清 水 美 保	
兼務) 分 室 長	大 原 直 文	
兼務) 分 館 主 幹	林 健 治	

(2) 図書館職員(指定管理者 株式会社 図書館流通センター)

四万十市立図書館 本館 職員11名

館長 館長補佐(分館兼務) スタッフ10名(うち司書6名)

四万十市立図書館 西土佐分館 職員5名

館長(本館兼務) 館長補佐 スタッフ4名(うち司書1名)

(3) 四万十市図書館協議会委員

(R1. 10. 1～R3. 9. 30)

職 位	氏 名	区 分
委 員 長	清 水 勇 吉	学 識 経 験
副 委 員 長	中 平 晋 祐	学 識 経 験
委 員	岡 添 眞 子	社 会 教 育
委 員	岡 郁 美	学 識 経 験
委 員	上 田 稚 子	学 校 教 育

3 所蔵資料等(分館とも)

(R2. 4. 1現在)

蔵書総数 163,028 冊 (本館 147,981冊、分館 15,047冊)
 ・うち児童図書 42,465 冊 (開架冊数 92,602 冊)
 ・うち郷土資料 14,058 冊

市民1人当り蔵書冊数 4.88 冊 (人口 33,396 人)

年間購入図書 4,350 冊 (受入数 5,200 冊)

雑誌購入数 162 誌 (受入数 172 誌)
 (本館 130 誌 分館 32 誌)

新聞購入数 12 紙 (受入数 20 紙)

視聴覚資料

・ビデオテープ、DVD 1,841 本 ・紙芝居 539 組
 ・カセットブック 502 点 ・郷土関係写真 1,600 枚

4 貸出登録者数

5,012 人 (市外登録者 762 人)

5 年間開館日数

318 日 (分館: 323日)

Ⅲ サービスの状況

1 図書館利用・貸出

(1) 登録者数(登録更新者も含む)

(H29.4.1~R2.3.31) 人

	本館	分館	合 計
一 般	3,619	251	3,870
中 学 生	136	10	146
小 学 生	381	36	417
幼 児	547	32	579
合 計	4,683	329	5,012

*市外登録者

762 人

(2) 来館者数・貸出者数

(H31.4.1~R2.3.31) 人

	来館者数		個人貸出者数	
	本館	分館	本館	分館
一 般	60,978	5,019	26,887	2,425
中 学 生	1,346	175	370	55
小 学 生 以 下	10,914	1,367	3,831	520
小 計	73,238	6,561	31,088	3,000
合 計	79,799		34,088	

(3) 個人貸出数

(H31.4.1~R2.3.31) 点

	図書雑誌類		視聴覚資料	
	本館	分館	本館	分館
一 般 図 書	78,394	4,904	3,480	806
児 童 書	37,780	4,395		
雑 誌	11,498	953		
小 計	127,672	10,252	3,480	806
合 計	137,924		4,286	

142,210 点

市民1人当たり資料貸出点数

4.26 点

2 団体貸出(巡回文庫含む)

(H31.4.1~R2.3.31) 点

	貸出団体数	貸出回数	貸出冊数
一 般 団 体 等	39	176	4,893
保育所(巡回文庫)	20	220	6,600
小学校(巡回文庫)	11	61	3,050
中学校(巡回文庫)	9	45	2,700
合 計	79	502	17,243

3 予 約

予約・リクエスト件数

計 5,640 件

(本館 3,957件 分館 1,683件

うちネット予約 562件)

一般図書、児童図書

4,578 件

雑 誌

1,035 件

視聴覚資料

27 件

4 参考業務

計 2,129 件

5 相互貸借

・ 借受冊数

計 845 冊

高知県立図書館・高知市民図書館	737 冊
土佐清水市立市民図書館	4 冊
黒潮町立図書館	1 冊
その他の県内図書館	57 冊
県外図書館	46 冊

・ 貸出冊数	計	163 冊
県内図書館		161 冊
県外図書館		2 冊

6 資料複写（有料 白黒 @10円 カラー@20円） 1,821 枚

7 継続事業の実施状況

（1）本館

① 絵本の読み聞かせ 毎週日曜日 10:20～11:00

開催日数	38 日
参加者	子ども 196 人
	大人 140 人
読み聞かせボランティア登録者	18 人

② ブックスタート（10ヶ月健診時に実施）

中村地域（毎月）	193 人
----------	-------

③ 職場体験学習（キャリア体験事業）

中学生	9 人（4 校）
-----	----------

④ 図書館見学

小学生	123 人（5 校）
-----	------------

⑤ こどもの読書週間行事

・ 読書ラリー	4月27日（土）～
・ めいぐるみのおとまり会	5月4日（土）～ 5月5日（日）

⑥ 出張読み聞かせ等 竹島小学校読書祭り
保育所 11か所

11月29日（金）	
随時	1,003 人（18 回）

⑦ 図書館だより

こどもとしゃかんだより	毎月発行
	毎月発行

（2）西土佐分館

① 絵本の読み聞かせ	毎月1回 川崎保育所、西土佐小・中学校	2,695 人（44 回）
	毎週 水・土・日曜日	開催日数 73日
	参加者	子ども 237人
		大人 32人

② ブックスタート（乳児健診時に実施）

西土佐地域(3か月に1回)	3人
---------------	----

③ 図書館見学及び職場体験

小学生	18 人（1 校）
中学生	2 人（1 校）

④ こどもの読書週間行事

・ 読書ラリー	4月27日（土）～
---------	-----------

⑤ 分館だより

毎月発行

8 自主事業の実施状況

(1) 児童へのサービス等(本館)	実施日	参加人数	
① めいぐるみのおとまり会	5月4日(土)	子ども	9人
		大人	5人
	5月5日(日)	子ども	8人
		大人	6人
② 子ども映画上映会	6月16日(日)	子ども	19人
		大人	25人
③ サイエンス講座 色の不思議 黒なのに黒じゃない	7月27日(土)	子ども	12人
		大人	11人
④ 夏のこわーいおはなし会	8月4日(日)	子ども	21人
		大人	15人
⑤ 工作教室 キュートなパッケージクラフト	8月18日(日)	子ども	15人
		大人	9人
⑥ ハロウィンおはなし会	10月13日(日)	子ども	15人
		大人	11人
⑦ 子ども図書館員養成講座	10月26日(土)	子ども	4人
	10月27日(日)	子ども	4人
⑧ 英語でおはなし会	11月16日(土)	子ども	14人
		大人	8人
⑨ クリスマスおはなし会	12月22日(日)	子ども	23人
		大人	8人
⑩ 本の福袋	1月5日～10日		
⑪ 節分おはなし会	2月2日(日)	子ども	15人
		大人	10人
⑫ 子ども映画上映会	3月15日(日)	中止	
⑬ 読書通帳の配布	年間約400冊		
⑭ 読書ラリー	春夏編、秋冬編		

(2) 一般向けサービス等(本館)	実施日	参加人数	
① 生涯学習講座 新聞バックを作ろう	4月13日(土)	大人	10人
② 映画上映会	5月11日(土)	大人	32人
③ 映画上映会	6月8日(土)	大人	7人
④ 生涯学習講座 四万十ヒノキでフラワーアート	7月6日(土)	子ども	3人
		大人	15人
⑤ 映画上映会	8月17日(土)	大人	15人
⑥ バリアフリー映画上映会	9月14日(土)	大人	14人
⑦ 映画上映会	10月12日(土)	大人	17人
⑧ 映画上映会	12月14日(土)	大人	11人
⑨ 本の福袋	1月5日～10日		
⑩ 映画上映会	2月8日(土)	大人	10人
⑪ 歴史講座 親子で勾玉を作ろう	2月22日(土)	子ども	14人
		大人	10人

(3) 西土佐分館でのサービス	実施日	参加者	
① 春のおはなし会	4月21日(日)	子ども 大人	14人 7人
② 苔玉教室	5月19日(日)	大人	14人
③ バリアフリー映画上映会	6月15日(土)	大人	19人
④ ボードゲームで遊ぼう	7月27日(土)	子ども 大人	3人 3人
⑤ 身近な植物を調べよう	8月4日(日)	子ども	16人
⑥ 木工教室	9月28日(土)	子ども 大人	2人 9人
⑦ お月見おはなし会	10月27日(日)	子ども 大人	10人 7人
⑧ 映画上映会	11月18日(日)	大人	5人
⑨ クリスマスおはなし会	12月22日(日)	子ども 大人	21人 8人
⑩ ボードゲームとかるたで遊ぼう	1月12日(日)	子ども 大人	9人 2人
⑪ 新聞バックを作ろう	2月22日(土)	大人	5人
⑫ 映画上映会	3月22日(日)	中止	

9 館内の環境改善等(本館)

- (1) 投書箱、お便りコーナーの設置
- (2) ブックシャワーの設置
- (3) 耳マーク、コミュニケーションボード、筆談ボードの設置
- (4) ウェルカムボードの設置
- (5) 館内表示及び見出し板の整備
- (6) 利用者アンケートの実施
- (7) ティーンズ向け広報誌の作成
- (8) フェイスブック、ツイッターによる情報提供
- (9) 赤ちゃん向け絵本リストの作成
- (10) 四万十川コーナーの設置(一般・児童)
- (11) ビジネス支援コーナーの設置
- (12) 市内全小学校への「T00Li-S」の導入
- (13) デジタルサイネージの設置
- (14) 図書館ホームページに子ども向けページを追加

IV 令和2年度運営方針

〈基本方針〉

生涯学習を支援する機関として、指定管理者との連携のもと市民の求める資料の収集に努め、図書館サービスの充実を図ります。また、「子ども読書活動」を推進し、本好きな子どもの育成に努めます。

○ 運営方針

読書で育てる豊かな心
読書で磨く豊かな教養
読書で満たす豊かな人生



- ・ 県立図書館や学校等との連携
- ・ 図書館と家庭・地域との協働
- ・ 図書館とボランティアとの連携

《重点施策》

- 1 効果的な資料の収集と提供
- 2 全市民への図書館サービスの充実
- 3 子ども読書活動の推進
- 4 利用率の引き上げ
- 5 指定管理者による事業展開

(具体的方策)

1 効果的な資料の収集と提供

- (1) 参考図書（一般教養程度）の充実に努めます。
- (2) 行政資料（パンフレット・読本等）の収集に努めます。
- (3) 郷土資料・地震・水害資料等の収集に努めます。
- (4) 県立図書館や他市の図書館との連携により、効果的な図書等の提供に努めます。

2 全市民への図書館サービスの充実

- (1) 大活字本（高齢者・弱視者への対応）やDVD等視聴覚資料の積極的収集に努めます。
- (2) 来館が困難な障害者や高齢者に対して、地域の集会所等への配送サービスを実施します。
- (3) リクエストによる図書の購入など、より市民ニーズにあった図書を確保します。
- (4) さまざまな分野や各世代向けの図書の確保を図ります。
- (5) 巡回文庫や団体貸出の充実に努めます。

3 子ども読書活動の推進

- (1) 「四万十市子ども読書活動推進計画」二次計画に基づき、家庭・地域や保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等と連携し、更なる子ども読書活動の推進と普及に努めます。
- (2) 「子ども読書の日」（4月23日）のPRに努めます。
- (3) 幼児・児童・生徒の読書（ブックスタート・絵本に親しむイベント）や絵本の読み聞かせを推進します。
- (4) 読み聞かせボランティアの育成を図ります。

4 利用率の引き上げ

- (1) 意見投書箱や利用者アンケート等を通じて利用者の要望などを把握・分析し、利用者の声をできるだけ反映させることにより、利用率の向上を図ります。
- (2) インターネットによる図書検索や予約システムなどのPRに努めます。
- (3) 多彩な雑誌の積極的収集に努めます。
- (4) DVD等多様な視聴覚資料の収集に努めます。
- (5) ホームページを活用し、図書館情報の提供・充実に努めます。

5 指定管理者による事業展開

市の方針に沿って指定管理者による事業を展開し、サービス向上をめざして図書館運営を行えるよう支援します。

(指定管理者の事業基本方針)

「四万十市の自然・歴史・文化を保存・発信し、市民の活動による四万十市の新たなきらめきを創出する図書館」を目指す図書館像とし、以下の6つをサービスの方針として事業を展開します。

- (1) 市民が集い、学び、憩う図書館を目指します
- (2) 学校等と連携し、子どもたちの「生きる力」を育てます
- (3) 市民や地域の課題解決を支援します
- (4) 地域と連携した様々な事業を展開し、市民の知的好奇心を喚起します
- (5) 四万十市の文化・歴史・自然を保存・発信し、市民の地域への愛情を高めます
- (6) 郷土四万十川コーナーを拡充し、地域と連携して四万十川を題材にした事業を行うなど特色のある図書館づくりを目指します

V 令和2年度 予算

(単位：千円)

科 目	本年度	前年度	比 較	本年度の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
図書館費	61,249	53,974	7,275	0	0	32	61,217

図書館費（内訳）

(単位：千円)

節	金 額	説 明
報 酬	50	図書館協議会委員 4名分 40
		子ども読書活動推進委員 10
旅 費	14	費用弁償 14
需 用 費	388	燃料費 37
		備品等修繕料 100
		印刷費 251
役 務 費	196	電話料 156
		読書ボランティア傷害保険料 40
委 託 料	58,882	管理運営委託料 52,954
		図書館管理運営システム保守委託料 152
		図書館システム更新 5,776
使 用 料 及 び 賃 借 料	1,672	図書館システム使用料 1,381
		図書データ使用料 291
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	47	日本図書館協会負担金 37
		高知県図書館協会負担金 10
合 計	61,249	

* 資料費(R 2)	11,100 千円	(対前年比 99.6 %)
(うち図書費)	8,450 千円	新聞・雑誌 2,100 千円
		DVD・CD等 550 千円)
* 資料費(H31)	11,194 千円	(対前年比 98.7 %)
(うち図書費)	8,547 千円	新聞・雑誌 2,079 千円
		DVD・CD等 568 千円)
* 資料費(H30)	11,296 千円	(対前年比 101.7 %)
(うち図書費)	8,553 千円	新聞・雑誌 2,024 千円
		DVD・CD等 719 千円)
* 資料費(H29)	11,103 千円	(対前年比 85.6 %)
(うち図書費)	8,227 千円	新聞・雑誌 2,044 千円
追録	266 千円	DVD・CD等 566 千円)
* 資料費(H28)	12,969 千円	(対前年比 103.1 %)
(うち図書費)	9,880 千円	新聞・雑誌 1,963 千円
追録	571 千円	DVD・CD等 555 千円)

VI 資 料

図書館沿革

- 1) 幡多文庫時代
明治 39 年 4 月 幡多郡教育会の創設した「幡多文庫」を中村小学校内に設置する。
- 2) 幡多図書館時代
大正 4 年 4 月 「幡多文庫」を「幡多図書館」と改称、旧塩務局跡へ移転する。
- 3) 中村町立図書館時代
大正 13 年 4 月 中村町は、幡多教育会より図書館の寄附を受け、「中村町立図書館」とする。

昭和 4 年 2 月 優良図書館として文部省より表彰される。
昭和 10 年 8 月 大洪水のため図書多数被害を受ける。
昭和 19 年 1 月 NHK 中村中継放送所を開設するため館舎を譲り、休業中の町営公益質屋倉庫(現小姓町)へ移転する。

昭和 21 年 12 月 南海大震災のため、仮館舎(町営公益質屋倉庫)が倒壊して蔵書は大被害を受ける。以後休館する。

昭和 23 年 4 月 町営本町寮二階(現本町3丁目)を仮館舎として再開する。
12 月 警防団屯所を小姓町(現裁判所前)に移転し、その階上を図書館とする。
- 4) 中村市立図書館時代 ①
昭和 29 年 3 月 市制施行とともに「中村市立図書館」となる。
昭和 30 年 1 月 公民館分館へ巡回文庫を開始する。
12 月 警防団屯所が移転したので、階下に子供読書室を開設する。
昭和 31 年 1 月 開架式閲覧方式を開始する。
4 月 蔵書目録を作成する。
9 月 NHK 中村中継放送所の移転により、もとの館舎へ復帰する。
昭和 32 年 2 月 読書グループへの貸出文庫を開始する。
昭和 33 年 4 月 日曜日開館を廃止して、夜間開館(月水金、午後6時～9時)を開始する。
「増加図書目録」を発行開始する。

昭和 34 年 12 月 中筋地区(有岡)へ配本所を設置する。
昭和 35 年 1 月 子供分室を前館舎(警防団屯所)階上に開設する。
昭和 37 年 8 月 富山地区(大用)へ配本所を設置する。
昭和 38 年 11 月 大川筋地区(川登)へ配本所を設置する。
昭和 41 年 11 月 小・中学校読書感想文コンクールを開始する。
- 5) 中村市立図書館時代 ②
昭和 44 年 9 月 中村市大橋通4-10へ、新館落成する。
11 月 「中村市史」(正編)出版する。
昭和 45 年 4 月 郷土資料展示室を開室する。
5 月 母と子の読書室での紙芝居、読み聞かせを開始する。
貸出方式をブラウン式にかえる。
複写サービスを開始する。
10 月 第3回高知県図書館大会を開催する。
昭和 46 年 4 月 視聴覚室を開設する。
昭和 49 年 10 月 「幡多史料を語る会」の発足により事務局となる。
昭和 50 年 4 月 坂本清馬蔵書、寄託される。
昭和 51 年 5 月 視力障害者用テープ作成開始する。(現在はボランティア組織で作成)
昭和 54 年 5 月 市内保育所に絵本の貸出文庫を開始する。
昭和 57 年 10 月 身体障害者閲覧(連絡)室を開設する。(その後、新聞閲覧・電話帳室に変更)
昭和 58 年 1 月 「幡多史料を語る会」第100回を開催する。
昭和 59 年 4 月 「中村市史」続編を出版する。
昭和 62 年 3 月 浜田文庫開設(浜田初広氏蔵書)。
6 月 冷暖房設備設置。
7 月 坂本文庫開設(坂本清馬氏蔵書)。
昭和 63 年 8 月 福山文庫開設。

平成 3 年 9 月 第1、3日曜日午前中(9時～12時)開館を開始する。
平成 4 年 3 月 大野文庫開設(大野関夫氏寄贈による)。
7 月 こりす文庫開設。
11 月 国際ソロプチミスト幡多文庫開設(以後、毎年大活字本の寄贈を受ける)。

平成 5 年	7 月	図書館広報「図書館だより」(隔月)を発行開始する。
平成 6 年	2 月	田中文庫開設(田中一氏蔵書)。
	4 月	幡多郷土資料館を所管する。
平成 9 年	6 月	県立図書館自動車文庫の利用、貸出を開始する。(四万十市合併後、終了)
平成 10 年	4 月	毎週土・日曜日を開館し、月曜日を休館日とする。 開館時間を10時から18時とする。(それまでは9時開館) 「朝の読書」の取り組みを始める。
平成 11 年	4 月	貸出券作成対象者を幼児から0歳児まで拡大する。
	5 月	2階書庫を移動式書架にする。
平成 14 年	9 月	1歳9か月健康診査時にブックスタート事業を開始する。(県補助事業：3年間で終了。その後、市単独)
平成 16 年	11 月	雑誌の館外貸出禁止期間を1週間に統一する。

6) 四万十市立図書館時代 ①

平成 17 年	4 月	四万十市発足により『四万十市立図書館』となる。 開館時間を朝9時とする。
	10 月	第33回高知県図書館大会を開催(於：サンリバー四万十)する。
平成 18 年	4 月	蔵書目録の電子化に取り掛かる(データ整理、TRCマークへ)。
	6 月	巡回文庫を西土佐地域に拡大する。
	7 月	個人貸出限度冊数を変更(5冊⇒10冊)。
平成 19 年	4 月	図書館だよりを月刊で復刊する。
	8 月	蔵書目録電子化事業に関連して、TRCに購入先を一本化する。
平成 20 年	8 月	新図書館(新市庁舎)建設に着手する。
平成 21 年	12 月	図書館システム納入業者決定する。
平成 22 年	3 月	新市庁舎完成(2階部分が新図書館)。 図書館(旧館舎)での貸出終了する。
	4 月	新館への引越作業のため休館する。
	5 月	図書館(旧館舎)解体。

7) 四万十市立図書館時代 ②

平成 22 年	7 月	図書館新館オープン。 管理運営システム稼動。
平成 23 年	1 月	幸徳秋水刑死100周年記念事業の一環として冊子『幸徳秋水』を発行する。
	9 月	「幸徳秋水特別展 伝次郎から秋水へ」を開催する(9月10日～9月25日、中央公民館)。
平成 24 年	3 月	「中村の100年写真展」を開催する(3月29日～4月8日、中央公民館)。
	4 月	子ども読書活動優良実践図書館として、文部科学大臣表彰を受ける。
	11 月	「四万十市子ども読書活動推進計画」を策定する。
平成 25 年	3 月	「中村の100年写真展パート2」を開催する(3月27日～4月7日、中央公民館)。
平成 26 年	5 月	指定管理者制度導入検討開始。
平成 26 年	7 月	西土佐分館移転オープン。
平成 26 年	8 月	「中村の100年写真展 総集編」を開催する(8月7日～8月15日、中央公民館)。
平成 27 年	3 月	四万十市立図書館協議会から、指定管理者制度導入を可とする答申が出る。
	9 月	指定管理者募集。

8) 四万十市立図書館時代 ③

平成 28 年	4 月	株式会社図書館流通センターが図書館指定管理者となる。 毎週月曜日・祝日を開館とする。 本館の開館時間を19時までとし、1時間延長する。
平成 28 年	10 月	雑誌最新号の館外貸出を禁止とする。 (季刊については、登録後1か月間禁止とする。)
平成 29 年	5 月	雑誌の貸出期間を1週間から2週間とする。
令和 2 年	3 月	新型コロナウイルスの流行により25日間臨時休館とする。

== 参考 == 図書館サービス実績 (指 標)

区 分		H31	H30	H29	H28	H27
1. 登録率	$\frac{\text{登録者数(市内)}}{\text{人口}} (\%)$	15.00 (12.73)	7.30	8.59	8.10	7.86
2. 市民1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	4.26	4.89	4.92	5.07	4.79
3. 登録者1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}} (\text{冊})$	28.37	67.05	57.35	62.55	60.95
4. 1日当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}} (\text{冊})$	447.20	485.31	493.00	510.13	593.84
5. 蔵書回転率	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}} (\text{回})$	0.87	1.04	1.08	1.12	1.12
6. 市民1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	0.13	0.17	0.16	0.20	0.18
7. 登録者1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{登録者数(市内)}} (\text{冊})$	0.87 (1.22)	2.28	1.85	2.45	2.30
8. 市民1人当り蔵書数	$\frac{\text{蔵書数}}{\text{人口}} (\text{冊})$	4.88	4.70	4.55	4.34	4.29
9. 市民1人当り図書資料費 (予算)	$\frac{\text{図書資料費(年)}}{\text{人口}} (\text{円})$	253.02	250.53	242.98	286.93	284.33
10. 市の人口 (4/1現在)	(人)	33,396	33,728	34,036	34,433	34,713
		H31	H30	H29	H28	H27

四万十市立図書館

高知県四万十市中村大橋通4丁目10

Tel 0880-35-2923 Fax 0880-35-2960

西土佐分館

高知県四万十市西土佐江川崎2445-2

Tel 0880-52-2888 Fax 0880-52-2888